

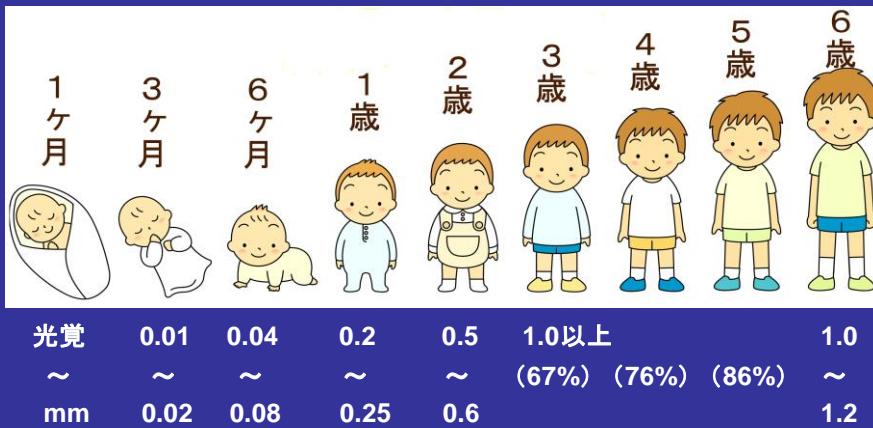
# 3歳児視覚 二次検診を 受けましょう！！

早期受診が大切です！

3か月以内に受けましょう



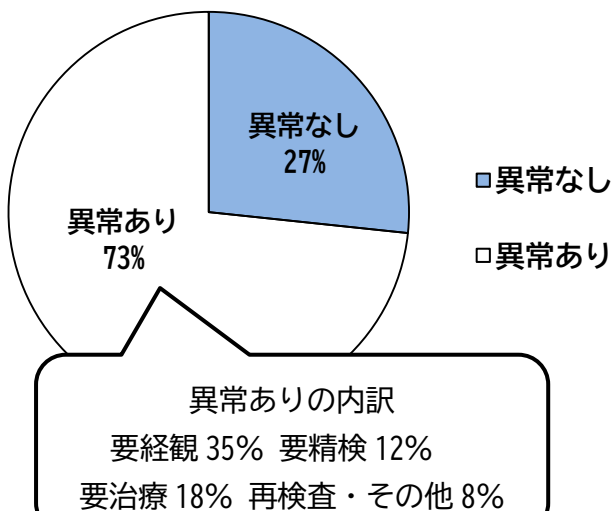
## 視力の発達



3歳から4歳頃になると約7割程度の子どもの視力が1.0程度の視力に発達します。しかし何らかの理由で1.0になる前に視力の発達が止まってしまい、眼鏡をかけても将来にわたり1.0と同等の見え方ができない「弱視」という状態になってしまうことがあります。

弱視の治療は8歳くらいまでは可能ですが、年齢が低いほど治療成績は良く、しかるべき時期に治療しなかった視力は後から取り戻すことができません。

## 令和4年度 吹田市視覚二次検診受診児の結果



令和4年度吹田市視覚二次検診を209名が受診され、153名が精密検査や治療等が必要となりました。その約半数は弱視、遠視、近視、乱視、斜視等の診断名がつけました。

眼科での検査は、幼児でも理解しやすいようにイラストを用いたり、機械を使って（お子様に機械を覗いてもらう方法）検査されることが多いです。「検査がわからないから、もう少し大きくなってから・・・」では進行してしまうことがあります。詳しい検査方法については、専門の医療機関にお問い合わせください。

※参考：日本眼科医会「3歳児眼科健診のすすめ」

<問い合わせ先>

吹田市児童部すこやか親子室（保健センター） 吹田市出口町19-2

TEL：06-6339-1214 FAX：06-6384-1175